

## 司会

それでは、定刻になりましたので、ただ今から熊本市・富合町合併協定調印式を開会いたします。

本日は御多忙の中、合併協議会委員、両議会議員の皆様並びに関係者の皆様には御出席をいただきまして、心から厚くお礼申し上げます。合併協定書への調印のため、代表の方々

に署名等をお願いする関係上、若干の時間を要しますが、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

それでは本日、御臨席をいただいております御来賓の方を御紹介させていただきます。熊本県知事 潮谷 義子様でございます。後ほど、特別立会人として御署名と御祝辞を頂戴したいと存じておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

それではここで、これまでの合併協議につきまして、合併協議会の豊永事務局長から経過報告をさせていただきます。



## 事務局

合併につきましての、熊本市・富合町合併協議に関する結果報告をさせていただきます。平成17年になりますが、4月19日熊本市長と富合町長が面談をされました。その中で、研究会・勉強会のようなものを設置したいというようなことが合意に達しまして、5月10日に熊本市・富合町合同研究会が開催され、9月29日まで行われました。これは、事務方による研究会とい



うことでございまして、両市町のサービスの状況等、お互いで研究したということがございます。平成18年になりまして5月19日、熊本市・富合町合併準備協議会、これは通称、任意協議会と言われるものでございますが、これが設置され、第1回協議会が5月19日に開催されました。この協議会は4回開かれまして、12月5日に終了いたしております。それに先立ちます11月21日に富合町の臨時議会が開催されまして、熊本市・富合町法定協議会設置議案が可決されたということがございます。そして、12月27日に熊本市議会におきましても、熊本市・富合町法定協議会設置議案が可決されたということがございます。これを受けまして平成19年1月5日に熊本市・富合町合併協議会が設置されたということがございます。

第1回の協議会が2月5日に開催されまして、去る10月23日まで全10回の協議が行われたということでございます。合わせまして、熊本市・富合町合併協議会には議員専門部会、両方の議員さん10名ずつの専門部会が設置されまして、この議員専門部会が8回開催されたということでございます。そういう中で全42項目の協議が10月23日に無事整ったということでございます。

今日の協定書の内容は、協議の結果の調整方針を記載したものでございます。以上経過報告でございます。

司会

それでは早速ではございますが、合併協定書に調印をお願いしたいと存じますが、あらかじめ調印の手順につきまして、ご説明を申し上げます。

合併協定書は2部でございます。まずはじめに、幸山熊本市長と村崎富合町長のお二人に、合併協定書に署名・押印をお願いいたします。

次に、立会人として、熊本市・富合町合併協議会委員の皆様に御署名をお願いいたします。最後に特別立会人といたしまして、熊本県知事潮谷様に御署名をお願いいたします。それぞれ順に御名前をお呼びいたしますので、正面ステージへ御移動いただき、御署名をお願いいたします。1部御署名をいただいた後、事務局職員が合併協定書を交換いたしますので、もう1部の方にも御署名をお願いいたします。

それでは、両市町長に、合併協定書への調印をお願いいたします。

「熊本市長 幸山 政史 様」

「富合町長 村崎 秀 様」

正面ステージに御移動いただき、署名・押印をお願いいたします。

(両市町長 署名、押印)



司会

それでは、もう一部に署名・押印をお願いいたします。

(両市町長 署名、押印)

以上をもちまして、両市町長の署名は終了いたしました。両市町長はもとのお席へお戻りください。

それでは、本日御臨席いただいております合併協議会委員の皆様へ立会人として御署名をお願いしたいと存じます。御名前をお呼びいたしますので正面のテーブルまで、お進み下さい。

「熊本市議会議長 牛嶋 弘 様、江藤 正行 様、上村 恵一 様」

「内藤 信博 様、松永 隆 様」

(両市町委員 署名)



ありがとうございました。もとの席へお戻り下さい。続きましてお願いいたします。

「福原 政治 様、宮原 スエ子 様、森 日出輝 様」

「岩永 則勝 様、金子 雄子 様、本田 慶信 様」

(両市町委員 署名)



ありがとうございました。もとの席へお戻り下さい。続きましてお願いいたします。

「田川 家稔 様、原田 みよ子 様、長曾我部 久 様」

「江野 秀春 様、西村 榮記 様、森川 治雄 様」

(両市町委員 署名)



ありがとうございました。もとの席へお戻り下さい。続きましてお願いいたします。

「松見 辰彦 様、三嶋 輝男 様」

「井川 正明 様、田中 榮信 様」



(両市町委員 署名)

ありがとうございました。もとの席へお戻り下さい。

最後に特別立会人として、熊本県知事 潮谷 義子 様に御署名をお願いいたします。  
潮谷知事、正面のテーブルまでお願いいたします。



(熊本県知事 署名)

ありがとうございました。潮谷知事には、テーブル前、中央に御移動いただきまして、幸山市長、村崎町長にはステージへ御登壇いただきたいと存じます。

それではここにおきまして、両市町による合併協定の調印が相整いましたことを記念いたしまして、潮谷知事並びに両市町長による握手をお願いし、記念撮影を行います。それでは、握手をお願いいたします。



司会

ありがとうございました。皆様、もとのお席へお戻りください。本日は、皆様方の御協力のもと、お蔭をもちまして、署名が滞りなく終了することが出来ました。皆様の御協力



ありがとうございました。

続きまして、熊本市を代表いたしまして、幸山 政史 熊本市長が御挨拶を申し上げます。

幸山 政史 熊本市長



それでは一言、御挨拶を申し上げます。本日は合併協定調印式、潮谷県知事立会いのもとに滞りなく執り行わせていただきました。ここに皆様方に対しまして心から感謝を申し上げたいと存じます。特に法定協議会委員として、御協力をいただいた委員の皆様方、さらには町議会、市議会議員の皆様方、そしてそれぞれの職員の皆様方も

御隣席をいただいているところでございまして、そして県におかれましては、知事はもとよりでございますけれども、市町村総室並びに宇城地域振興局をはじめといたしまして、多くの県の皆様方にも御理解と御協力をいただいた中で、本日の調印式を迎えることができました。ここに改めまして心から感謝を申し上げたいというふうに存じます。ただ今、皆様方の前で署名・捺印をさせていただいたところでございますけれども、さすがに手が震えまして、もともと上手くもない字ではありますが余計曲がりまして、これがずっと残るのかなと思いますと少し気恥ずかしい思いもいたしましたけれども、しっかりと思いを込めて署名させていただきましたし、そして印を押させていただいたところでございます。

先ほど、経過報告があったところでありますけれども、改めてその経緯を振り返っていただくところでございます。一昨年に「合同研究会」を立ち上げさせていただきまして、そして昨年は、「任意協議会」、そして今年に入りまして1月から10回の「法定協議会」を経て、先般、その調整項目を終えさせていただいたところでございます。

ただ今の協定書の中には、これまで積み上げてきましたこと、協定書の中身は42項目、1つの項目につきましては、わずか数行の協定書でございますけれども、しかしながらこれまで長年に渡りまして1つ1つ積み上げてまいりましたものが、凝縮した協定書でありまして、その思いに、万感胸にせまるものがあつたところでございます。改めましてこれまで、多大なる御協力をいただいた皆様方に対しまして、心からこの場をお借りいたしまして御礼を申し上げたいというふうに存じます。しかしながら、ただ今の協定書の中に印させていただきました、合併の期日10月6日まで、まだいろいろと手続きを経なければいけないことがございます。

まず、明日は富合町議会さんにおきまして議会が開かれることになりまして、そして私ども市議会におきましては、6日に開催をすることになっております。それから県議会の

同意を経まして国に対してという運びになるわけでございますけれども、これまで積み上げてまいりましたこと、多くの皆様方の御協力をいただきながら積み上げてきたものを決して無にすることのないように、10月6日の合併成就に向けまして、これまで以上に気を引き締めて取り組んでまいる所存でございますので、皆様方のさらなる御協力をよろしくお願い申し上げたいというふうに存じます。

そして昨日、法定協議会が終わりました後に村崎町長さんから、富合町さんとの合併を終わりとするのではなく通過点として、政令指定都市実現に向けて頑張っ欲しいというふうな、ありがたい御言葉をいただいたところでございます。その御言葉をしっかりと胸に留めまして、まずは富合町さんとの合併がそれぞれの住民にとって、やはり「よかった」というふうに言うにだけるような合併を、きちんと進めていくこと。そしてさらなる合併に繋げていくこと、それが使命であると改めて認識をいたしたところでございます。

今後とも、皆様方におかれましては、いろんな面で御支援・御協力をいただきますように、重ねてお願いを申し上げる次第でございます。

最後に改めまして、本日の調印式に御出席をいただきました潮谷県知事をはじめといたしまして、皆様方に対しまして心から感謝を申し上げまして、私の方からの御挨拶を代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

#### 司会

ありがとうございました。続きまして、富合町を代表いたしまして、村崎 秀 富合町長が御挨拶を申し上げます。

#### 村崎 秀 富合町長

本日は熊本市と富合町の合併協定書の調印式にあたりまして、一言御挨拶を申し述べたいと思います。

本日は公私ともに御忙しい中に、潮谷熊本県知事さんをはじめ県の関係の皆さん、それに両市町の協議会の委員さん、議会の議員の皆さん方、御隣席いただきましてこのように盛大な調印式ができましたことを心からお慶びするところでございます。ただ今合併協定書に署名させていただきましたが、ここに至るまでの関係各位の努力、または御協力に対して、深甚なる敬意を表したいと思います。私も感慨無量の気持ちでいっぱいでございます。

顧みますと富合町におきましては、これまで合併をめぐる多くの議論が交わされてきました。住民投票、町議会の議員の解散選挙等、合併論議の混迷の中に、議会におかれましては、平成18年6月に住民代表による合併検討委員会が設置され、将来に向かって財政



的なこと、商工業、農業、福祉等にかかわること等、多方面にわたる議論がされ、さらに合併の方向についても検討され、熊本市との合併を進めていくことが望ましいという答申を私は受けました。その答申内容を受けまして、平成18年11月に合併協議会の設置議案を可決され、さらに平成19年1月に法定協議会を設置し、その後は経過報告のとおり協議を行い、調印式を迎えることができました。協議会におきましては、上下水道、広域連合や都市計画の問題等、熊本市にお願いする点が多く、特に合併特例区の設置等、市に御配慮いただいたことに感謝しているところでございます。

協議の調整が整うと共に各事業を盛り込んだ素晴らしい新市基本計画ができましたことに対して、心から御礼を申し上げたいと思います。富合町は農業を主産業とし、豊かな水と緑に恵まれた明るく豊かな住みよい町でありますし、九州新幹線総合車輛基地が建設される等、都市化が進む地域でもありますので、今後熊本市の発展、さらに政令市に向けて大きく寄与するものであると、私は考えておるところでございます。

町では、合併に対する住民の不安や疑問等、今だに残っておりますが、丁寧に説明をし、報告を行い、住民の方にも御理解いただくように努力してまいりたいと考えております。今後、来年10月6日の合併に向けて全力を持って、望む所存でございますので関係各位のさらなる御協力と御指導、御鞭撻お願い申し上げたいと思っております。

そして、特に先ほど市長にも申し上げましたとおり、私たちの富合町の合併を第1歩として政令指定都市に向かって、州都を目指していただきたい。それが私たちの望むところでございますので、この調印式を契機に、熊本市が向かう記念すべき第1歩となりますように心から祈念申し上げまして、御挨拶といたします。本日は誠にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。大変ありがとうございました。

#### 司会

ありがとうございました。続きまして御来賓として御臨席を賜りました、熊本県知事 潮谷 義子様より御祝辞を賜りたいと思います。

#### 潮谷 義子 熊本県知事

今日この席にいらっしゃいます皆様方、本当に調印が叶いましたこと、心からおめでとうございます。先ほど、両市長町長様と御一緒に握手をさせていただきましたときに、会場の皆様方の顔が、本当に喜びに溢れているという感じがいたしました。平成17年の4月19日に第1歩が始まって2年6ヶ月の歳月が流れて、今日この日を迎えられるこの間、それぞれの皆様方の御立場の中からの論議がつくされて、そしてこの日をお迎えになられたと思っております。私ども県におきま



しては、合併の新法、平成17年の4月以降に新しく動きはじめました合併新法下の中では、この度の熊本市さんと富合町さんとの合併が第一号でございます。非常に今、日本全土の中で道州制に向かっている論議が始まっておりますし、担当大臣も決められている中で、私どもは将来、どのような形の中で行政の歩み、自治の歩みが始まっていくのかという、そんな中にありまして、この両市町の合併というのは将来を占う意味でも、非常にインパクトがあるものと、このように思っているところでございます。政令市、そして九州の雄都、そういうことを考えてまいりましたときにも、この度の良き日を迎えられるということは、県にとっても非常にエネルギーに満ちたメッセージを頂戴するところでございます。

しかしながら、皆様御承知のとおりこれから後、廃置分合に向けての手続きが、それぞれの議会の中でございます。この廃置分合に向けての手続きがそれぞれで議決をされませんと、私ども県議会の承認、さらには総務省に対しての申請行為を、県としていたしますわけでございますけれども、そこに辿り着くことができません。

どうか、これまでも論議を尽くされておいでになられました。町民市民に対して、情報を提供され、そしてそれぞれの御意見をくみ上げておいでになられました。それぞれの議員の方々は御自身の所属する町や市、その意見を吸い上げて議会を通してこの度の廃置分合に対しての議決行為がなされるわけでございますので、是非、よりよい形の中で議決が諮られますことを、県としても心から願うところでございます。

そして廃置分合の届けを、議決を経て、総務省に届け、来年の10月の6日。ここで私どもは新しい姿を見るわけでございますので、それまでの間、まだまだ皆様方の本当に論議をしなければならないこと。あるいは、超えなければならないこと、そういったものがあるかと思いますが、将来に向けてのしっかりとした歴史文化や、あるいは行財政のあり方等々を含めて、市民町民に対して分かり易い形の中で、来年の10月6日が、喜びのうちに幕を開ることができますことを、心から願っております。今日この良き日に特別立会人として立ち会うことができましたことを、私も喜びの中に噛みしめているところでございます。

本日は皆様、誠におめでとうございます。

司会

ありがとうございました。本日は皆様方の御協力によりまして無事調印を終えることができました。深く感謝申し上げます。

これを以ちまして、熊本市・富合町合併協定調印式を閉会いたします。皆様、本日は誠にありがとうございました。

なお、この後、潮谷知事、幸山市長、村崎町長及び協議会委員の皆様は記念写真撮影を行いますので、ステージ前にお集まり下さい。